



康心会汐見台病院

産科だより

令和2年

暦の上では「春」になる2月ですが、まだまだ寒い日が続きます。冬嫌いの私は、春を待ち遠しく毎日過ごしています。

私は今、2人目を妊娠中です。2歳の娘には妊娠初期から「ママのお腹の中には赤ちゃんがいるんだよ」と伝えてきました。初めは「？」とよくわかっていなかった娘もだんだんと理解してきたのか、保育園の先生や友達に「ママのお腹に赤ちゃんいるの!」と話しているようです。それと同時に、私のおっぱいを吸い始めたり、抱っこをせがむことが増えたり、理由なくぐずったりと娘は情緒不安定になりました。しかしある日、抱っこをせがまれ、お腹も大きくなってきて抱っこできないことを伝えると「あー! (叫ぶ) じゃあ手をつないで!」と泣きながら私の手を引いて歩き出しました。いつもなら嫌だと泣き叫ぶところですが、娘なりにいろいろな葛藤をしてやっと納得できたんだな、と娘の成長に涙が出そうでした。今では赤ちゃんの人形にミルクをあげたり、ベビーカーに乗せたり、よくお世話しています。こどもでも、しっかりと伝え続ければ自分なりに理解し、解決できるんだなと勉強させられました。2人目が生まれてから、また娘は様々な葛藤にぶつかると思いますが、さらなる成長を見守りたいと思

【当院に4Dエコーが導入されました】

4DのDとは dimension (次元) の略語で、一般的な妊婦健診で用いる2Dエコーは縦と横を映し出し、平面的(2次元)に赤ちゃんを撮影したものです。3次元(長さ・幅・奥行)に時間軸を加えて、あたかもビデオを見ているように動画でお腹の中の赤ちゃんを撮影できる超音波が4Dエコーになります。

- ・ 2D : 平面的に撮った静止画 (縦×横)
- ・ 3D : 立体的に撮った静止画 (縦×横×奥行)
- ・ 4D : 立体的に撮った静止画に時間軸を加えた動画 (縦×横×奥行×時間軸)

4Dは実際に胎児が動いている様子がわかりますので、指しゃぶりをしたり、あくびをしたり、元気に動き回っている可愛い映像が見られます。それをUSBやDVDにも保存できるので、子どもが大きくなってからお腹の中にいたときの姿を見せることもできます。

もうまもなく、皆様にも提供できようになりまますので、ぜひお腹の赤ちゃんの動いている姿に会ってみて下さい。



【エコー写真の見方】

皆様が健診でもらったエコー写真を是非見てみて下さい。左にあるようなアルファベットが書いてありませんか?実はそれぞれ意味があるのです。これを覚えておくとお腹の中の赤ちゃんの大きさがより想像しやすくなるかもしれません。

- ・ AC : お腹の周囲の長さ
- ・ AP : 羊水の量を表す指標
- ・ BPD : 頭の最も大きい横幅
- ・ CRL : 頭からお尻までの長さ
- ・ EFW : 推定体重

◆今月の赤ちゃん

この赤ちゃん、ママの採血を見学中です。当院では産後1日目と4日目の朝に採血します。授乳が終了し、満足した赤ちゃんを連れ、採血をしにナーステーションに来てくれました。本当は、見ているというより、ぼーっと遠くを見ている状態に近かったですが(笑)写真を撮っている間にどんだん目が閉じていつてしまったので、急いで撮りました。ママも隣で、採血されつつ笑って見てました。



◆編集後記

今月は初登場の金澤助産師にはじめとエコーの導入を担当していただいています。病棟勤務ですが、外来での助産師指導にも出ています。気軽に話掛けてみてください。

(編集担当: 郷原)